

景観58

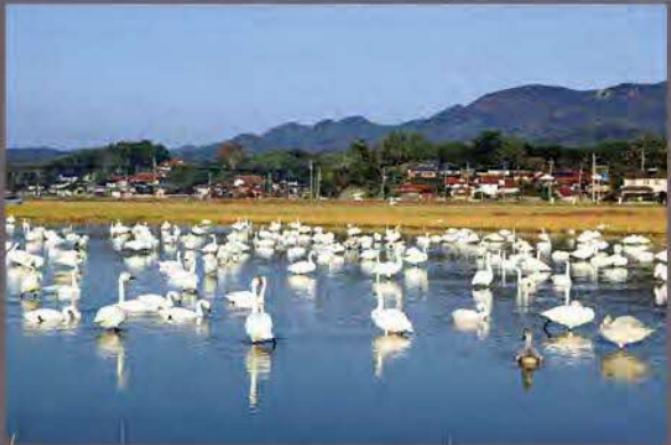
シリーズ

「みんなで残したい松江の景観400選集」から
景観審議会が特に推薦する景観

田園のコハクチヨウ

No.46

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、
市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選 検索

宍道湖北岸にある古志町の田園には、毎年11月ごろ、シベリアなどで繁殖したたくさんのコハクチヨウが渡ってきます。宍道湖周辺は、冬季に寒さを避けるため南下してきた冬鳥たちの飛来地となつており、春が訪れる

3月ごろまでコハクチヨウのほかマガモやキンクロハジロなど冬鳥たちでにぎわいます。

古志町の田園は、地元の農事組合法人が管理し、10年ほど前から冬の間も田んぼに水を張った

ところ、多くのコハクチヨウたちが羽を休めに飛来するようになつたそうです。約60アールの田園の周辺には「コーコー」という鳴き声が響き、訪れた人を楽しませ、休日には車が混み合う人気スポットとなっています。

澄んだ冬の空氣と水辺の景観に、白いコハクチヨウの姿がとても印象的です。近隣や訪れた人たちに大切に見守られている松江の美しい景観の一つです。